

平成 29 年度 第 1 回 独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院 地域連絡協議会 議事録

日 時 : 平成 29 年 10 月 26 日 (木) 14:00 ~ 15:30

会 場 : 会議室

出席者 : ◎地域連絡協議会委員 (敬称略・順不同)

大津市富士見学区自治連合会長 井口 恒明

滋賀病院腎臓病友の会長 高島 律子

大津市健康保険部長 菅原弘一

大津市保健所長 代理 坂口 和代

(大津市健康保険部保健所保健総務課)

元滋賀県国民健康保険団体連合会事務局長 飛田 幸男

大津市医師会 (6 組理事) 樋口 博一

大津市医師会 (8 組理事) 渡邊 茂弥

JCHO 滋賀病院院長 来見 良誠

JCHO 滋賀病院副院長 有村 哲朗

JCHO 滋賀病院事務部長 大村 英幸

JCHO 滋賀病院看護部長 菅井 亜由美

◎滋賀病院職員出席者

中野 良文 総務企画課長 大崎隆志 医事課長

清水 昭仁 健診管理課補佐 山元 ふみ子 地域医療連携室長

議 事 議長 : 有村副院長 司会 : 中野 総務企画課長

【司会】 只今より独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院地域連絡協議会を開催いたします。

はじめに滋賀病院院長 来見より挨拶がございます。

【院長挨拶】

来見院長 : 本日はありがとうございます。当院は可能な限り地域と密着した医療を展開していきたいと考えております。本日は委員の皆さんから忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(外部委員、滋賀病院委員紹介)

【司会】 議事に先立ち、議長を委員であり当院副院長の有村委員に指名させていただきますがよろしいでしょうか。

・・・異議なし・・・

【議事】

有村議長：本日は4つの議案が準備されています。本協議会では議事録を作成し、保存・公開することとなっていますので、議事録署名人の指名を行いたいと思います。議事録署名人については元滋賀県国民健康保険団体連合会事務局長 飛田（とびた）委員と滋賀病院事務部長の大村委員にお願いしたいのですが委員の皆さん、いかがでしょうか？

・・・異議なし・・・

議案1《JCHO 滋賀病院 平成29年度の取り組み》

(来見委員) 別紙資料1の内容をパワーポイントにより説明

- ・ 5カ年計画の内容と進捗状況について
 - A. 診療体制の適性化
本年5月に訪問看護始めた。より地域に溶け込むための一環。
 - B. 教育研究体制の機能推進
良いことを取組むためには教育体制が重要。新たな人材を育成。
 - C. 地域医療の機能推進
地域のニーズを可能な限り取り入れる。
 - D. 総合診療の推進
専門性を高めるあまり、全体が見えなくなるのを避ける。
 - E. ベクトルの整流化
経営の健全化
- ・ 人口の推移について
- ・ JCHO 滋賀病院 地域医療機能推進の推移について
- ・ 診療科紹介

質問

高島委員：新しい耳鼻科のDrは滋賀医大の方ですか。

来見委員：そうです。

議案 2 《H29 年度患者数等報告》

(大村委員) 別紙資料 2 の内容をパワーポイントにより説明。

質問

坂口委員：摂食嚥下の取り組みについてお聞きしたい。

菅井委員：地域包括ケア病棟を立ち上げて必要性がわかってきました。ちょうど専門 NS が認定受けました。元々 NST もやってきましたが、さらに取組をすすめております。

議案 3 《訪問看護ステーションについて》

(菅井委員) 別紙資料 3 の内容をパワーポイントにより説明。

前回の会議では、未知の患者を取り込むこと、最後まで診てもらえる病院になること、ホスピタリティの高い病院になることなどのご意見いただきました。看護部としては、出張講座「種まきナース」を実施しており毎月ご依頼いただいております。メニューも増やして、最近は認定 NS も参加しております。健診ではピンクリボンアドバイザーの NS が、乳がんに関するアドバイスの取り組みを行っております。近隣のスーパーでも毎年イベントを行っております。

(訪問看護ステーションについて)

- ・行政からは 24 時間出来ないかお話をいただいている。
- ・主に当院から 30 分以内の場所で活動。
- ・在宅を強化するため、機能強化型を目指している。将来遠い地区が増えることを考えるとサテライトも検討している。
- ・病院附属だからこそ出来ることを考えている。

意見・質問

渡邊委員：(当院のある) 上田上は遠いですが、サテライト化は是非お願いしたいです。

菅井委員：院内でも検討しております。

議案 4 《公的医療機関等 2025 プランについて》

(大崎委員) 別紙資料 4 の内容をパワーポイントにより説明。

◎ 滋賀病院の役割について

有村議長：この協議会の目的は、地域の多様なニーズの応える病院づくりとされております。病院側にもさまざまな事情があり、一朝一夕には実現できないこともあると思われませんが、地域にとって滋賀病院がどういった役割を果たしていくべきなのか本日ご出席いただきました委員の方々に当院に対する要望やご意見等がございましたら、それぞれのお立場から忌憚のないご意見

を賜りたいと考えております。

高島委員：シャントがつまると音羽記念病院に行きますが、食事のとき、ブルーのプラスチック製の割りばしが付いています。滋賀病院でもお願いしたい。

菅井委員：入院セットを用意しております。スプーンもついています。緊急時にもご利用いただけます。

菅原委員：訪問看護ステーションの大規模化に向けて、3か所の拠点を作りたいとこれまでやってきました。滋賀病院の取り組みはありがたい。行政としてもバックアップしていきたい。患者さんが安心できる連携・拠点機能のある病院として頑張っていたきたい。

樋口委員：ご家族に対する配慮、気遣いのできるNSの存在がありがたい。当院の患者さんも喜んでいました。当院でもそのようなNSが必要ですが、採用する秘訣はありますか。

菅井委員：退院前訪問を病棟NSに経験させています。採用より院内で育成しています。日々責任の重さを感じているようです。

渡邊委員：専門性を持ちながら、在宅に取り組むのは難しいと承知していますが、サテライトは是非実現していただきたい。公的援助も是非。びわこメディカル、あさがおネットなどやっているがなかなか進まないのが現状です。それよりも普通の電話が大事だと感じています。デジタルは時間も無駄遣いと感じることもあります。直接のやりとりが大事だと考えています。

坂口委員：多職種連携の取り組みとしては、スキルアップ研修など開催しています。多職種連携は病院がキーとなることが多い。専門性の高いスタッフの育成をしていきたいと考えています。

井口委員：訪問看護の情報は個人的には耳に入ってきませんが、(以前開催された)種まきナースの乳がん検診の話が素晴らしかった。これからもいろんな病気についてお願いしたい。種まきナースの情報はもっといただきたいです。

飛田委員：40年ほど滋賀病院と付き合いあります。一泊ドックなどされては。

来見委員：一泊ドックはしてませんが、滋賀県下巡回健診の取り組みをしています。採算でやっていけないわけではないので、ご意見参考にさせていただきます。

坂口委員：地域医療、在宅医療の支援病院をお願いしています。幅広い形でご協力いただきたい。看護師がつながる仕組みづくりを。看護教育の面でも大津市は取り組んでいきたいと考えています。

大村委員：本日はありがとうございました。

地域の皆様には本院のことをもっと知っていただきたいと考えておりますので、これからもこのような会を続けていきたいと考えております。いただいたご意見を実行できるように取り組んでいきたいと考えております。これからもよろしくお願い致します。

有村議長：予定しておりました議案につきましてはすべて終了しました。進行を事務局の司会にお返しします。

【司会】 当協議会につきましては、毎年度開催することとしておりますが、随時意見を頂戴したいと考えております。忌憚のないご意見を何卒よろしくお願い致します。

以上をもちまして、第1回独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院地域連絡協議会を終了いたします。外部委員の皆様におかれましては、お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございました。

以上